

学長就任の抱負



「人間愛」「人と人との絆」「SDGs への貢献」
この三つを教育研究の柱として
文教大学の系譜を未来へとつなげ、
本学の更なる発展を目指します！

文教大学は1966年に創立され（当時は立正女子大学）、2021年で55周年を迎えます。現在は埼玉県越谷市の越谷キャンパスと神奈川県茅ヶ崎市の湘南キャンパスがあり、2021年4月に第三のキャンパスとなる、東京あだちキャンパスを開設いたします。7学部、5研究科、専攻科、外国人留学生別科を持つ総合大学として成長をしてきました。

文教大学の教育理念は「人間愛の教育」であり、建学の精神としての「人間愛＝人間の絶対的尊厳と、その無限の発展性とを確信し、すべての人間を信じ、尊重し、あたたかく慈しみ、優しく思いやり、はぐくむこと」に基づく教育を行っております。

私が学長として目指すのは、本学の学生を、人間愛を基盤とし、高い理想をもって私利私欲なく社会に貢献する人材、そして、持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する人材であるよう育成することであると考えております。

私立大学は今、少子化の波の中で、生き残りをかけた非常に厳しい時代を迎えようとしています。すでに地方の私立大学の多くは、存在そのものの危機に立たされています。また、これに追い打ちをかけるように、コロナ禍によって大学教育の在り方が根本から見直されようとしています。このように、本学が置かれている状況は、決して安泰ではありません。今後、本学が大学間の競争に勝ち残り、更に充実した大学となって発展していくためには、学長のガバナンスによる明確な戦略のもと、教員と職員が心を一つにして知恵を出し合い、協力していく必要があると考えております。

教育、研究、社会貢献、入試、就職、大学運営などの施策に関する骨子

新規事業：文教ミュージアム（3 キャンパスに跨がる統合の要として、本学園の歴史と学術資産を集約し発信する拠点）の設立

教 育：緊密な学部間連携、教育の質保証確立による大学再創造

研 究：大学院の充実、URA やコーディネーターの活用による研究環境改善、寄付講座の誘致

社会貢献：地域連携、充実した高大接続、グローバル化による地域や世界との連携推進

入 試：学部の特性を活かした入試体制とマーケティング理論導入による更なる攻めの入試戦略推進

就 職：教員、保育士、公認心理師、管理栄養士、公務員、一般就職、それぞれに対応した就職指導充実

大学運営：明確な戦略に基づく透明公平な大学運営。ビジョン共有による教職員間の協力体制強化

私は文教大学に着任以来 21 年間にわたり、大学・学園の直面する課題の解決に積極的に取り組んできました。文教大学は私の人生すべてといっても過言ではありません。私は愚直な人間ですので、小さなことの積み重ねや一步一步の前進しか出来ませんでした。皆さま方のご理解とご協力により、様々な難題を乗り越えることが出来ました。人と人との絆が何よりも大切だと実感しております。私はこれまでの経験を活かして、大学のリーダーとしての職務を全うしたいと考えております。また、すべての教員、職員、一人ひとりを大切にする大学、そして学生がのびのびと学び、自身の力を思う存分発揮することのできる大学をつくりたいと思います。

さらに、2021 年 4 月に開設する「東京あだちキャンパス」を契機に、新たな文教大学をスタートさせます。東京あだちキャンパスには、国際学部と経営学部が移転しますが、移転する学部だけでなく、全学的な活動拠点として様々なイベントを行うことや、地域との連携強化を図りたいと考えております。

今後も本学に対して、ご理解とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、私の抱負とさせていただきます。